

1. 【開催案内】公開シンポジウム

「21世紀前半に発生が確実視される国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」

2. 【開催案内】公開シンポジウム

「私たちの地球はどんな惑星かー科学を混ぜて地球を探る」

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「21世紀前半に発生が確実視される国難級災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方」

-----■
【日時】2022年10月22日（土）14:30～16:00

【場所】兵庫県神戸市 JICA 関西 2F ブリーフィング室セッションシアター
※ハイブリッド開催

【主催】日本学術会議土木工学・建築委員会 IRDR 分科会

【共催】防災減災連携研究ハブ（JHoP）、ひょうご震災記念 21世紀研究機構
人と防災未来センター

【開催趣旨】

南海トラフ地震、首都直下地震など21世紀前半に発生が確実視される超巨大災害が切迫している。また、全国的に甚大な水害の発生の危険性が高まっており、経済・社会活動が集中する首都圏では深刻である。

こうした国難級リスクを乗り越えるため、残された時間の中で何を準備して、発災後はどのように対応すべきかであろうか。学術、行政、民間、メディアの見地から、国難災害を乗り越える俯瞰的な戦略と実行可能な具体的方策について討議する。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/330-s-1022-2.html>

【参加費】無料

【申込み】事前申込みは不要です。

ぼうさいこくたい 2022 プログラムのページ

※オンライン参加の場合、以下の URL よりご参加ください。

Zoom 接続先：<https://bosai-kokutai.jp/2022/s-18>

【問い合わせ先】

防災減災連携研究ハブ事務局（国立研究開発法人防災科学技術研究所）

メールアドレス：[info-jhop\(a\)bosai.go.jp](mailto:info-jhop@bosai.go.jp)

※(a)を@にしてお送りください。
-----■

【開催案内】公開シンポジウム

「私たちの地球はどんな惑星かー科学を混ぜて地球を探る」

【日時】2022年11月5日(土) 10:30~12:00

【場所】テレコムセンター1F大ステージ

【主催】日本学術会議 持続可能な発展のための国際基礎科学年(IYBSSD)連絡会議・地球惑星科学委員会

【共催】公益社団法人日本地球惑星科学連合

【開催趣旨】

地球惑星科学は、気候変動や災害などわれわれの身の回りの環境と深く関係していますが、物理・化学・生物などの基礎科学に基づいて成り立っています。その例として観測や計算に基づく大気科学と生命を育む星を探す挑戦とを取り上げ、第一線の研究者による紹介、聴衆との対話を通じて基礎科学の面白さ、さらにはわれわれが暮らす地球とはいかなる惑星かということを知ってもらいたいと思います。

※本公開シンポジウムは、サイエンスアゴラ2022出展企画です。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2022/index.html>

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/331-s-1105.html>

【参加費】無料

【申込み】事前申込みは不要です。

直接会場までお越しください。

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnhfNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34